

よく考える賢い子・思いやりのある優しい子・体を鍛える逞しい子



広田 PRIDE



広田小学校 学校だより 令和3年5月13日 文責 校長 梶山 和彦

すてきな広田の子供たちに「ありがとう」！

天候が危うい中、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、子供たちは運動会の練習を頑張っている毎日です。そんな中、1通のお手紙が送られてきました。一般市民の方からです。広田小学校の子供さんは素晴らしいとお褒めの言葉とお礼が綴られたものでした。さっそく給食時間の放送で子供たちに紹介し、褒めたたえました。素晴らしい行為をした子供は6年生でした。「さすが、6年生！」広田小学校の看板学年です。以下、お手紙（一部抜粋）をご紹介します。ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

突然のお手紙失礼いたします。

先日、御校の子供さんにお手伝いをいただきましたので、一言お礼をお伝えたくお手紙をお送りすることに致しました。

5月7日午後に車で信号待ちをしておりました。すると信号の向こうから子供たちが何かを追いかけている様子で、よく見ると首輪をした犬でした。子供たちは赤信号で止まりましたが、犬は赤信号も構わずに渡ってしまい、私の車の方に向かってきました。交通量が多い通りで信号待ちの最前列に止まっておりましたので、後続車に迷惑をかけてしまうかと躊躇しましたが、子供たちが必死に「危ないよ！」などの声かけを犬にしていたので、車から降りて犬を確保することにしました。何とか確保しましたがリードもついておらず困っていたところ、同じく信号待ちをしておられたバイクの男性の方が自分の荷物を固定するゴムを外して犬の首輪に通してくださいました。気づくと周りには犬を心配した子供たちがたくさん集まっていました。そして子供たちが犬の扱いに慣れていると言う一人の男の子にゴムを短く持って広田交番に行くようお願いし、その場を離れました。

その後の犬の様子が気になり、確認してみると、子供たちはみんな、犬を交番まで連れて行ってくれたことがわかり、大変嬉しくなりました。飼い主にも連絡が付いたそうです。

御校が学校教育目標とされている「主体的に考え、正しく判断して行動できる、心豊かでたくましい子供」そのままの子供たちでした。私が一人だったら、おそらく車から降りて確保する勇気は出なかったと思います。そして、犬はどうなったんだろう、確保すればよかったと後悔することになっていたでしょう。本当にありがとうございました。

子供たちによろしくお伝えください。

※紙面の都合上、一部内容をまとめながら掲載しております。

子供たちには、犬を助けた行為のすばらしさに加えて、このようなお礼の手紙を書いてくれた大人の方のすばらしさを伝え、「ありがとう」を行動や言葉で表現できる大人になりましょうと語りました。悲しい事件・事故が多い中、心温まる一時を得ることができました。

広田小学校の子供たち 万歳です。